

# 学びに向かう力を伸ばすために ～生徒主体の授業をめざしたタブレットの活用～

安平町立早来中学校  
星 聡志

## ○本校のタブレット活用の経緯

本校は2018年9月6日の震災により校舎が使用できなくなってしまったことから、地域教育機関などの協力を受けてPC室の代用としてのタブレット端末の活用を始めました。その後、文部科学省によるGIGAスクール構想を受け、安平町では2020年秋にGoogleのサービスであるG Suite for Educationを導入し、町内の小中学校でGoogle Classroomをはじめとする教育サービスを受けることができるようになりました。3学期には全校生徒1人1台のタブレット端末(iPad)の整備が完了し、それ以来Google Classroomを中心にタブレットの活用を進めています。

## ○学びに向かう力を伸ばすために

「学びに向かう」には生徒が学びの主体として授業が進む必要があります。限られた授業時間の中で生徒一人一人の学びを見取るためにはテクノロジーの活用が必須です。1人1台のタブレット配備が終わり、様々なことが可能となりました。前述したように、本校では、Google Classroomを中心としてタブレットの活用をしていますが、それとリンクした形で授業の中で大変役立っている例を2つ紹介します。

## ○ Padlet でシェアリング

1つ目はPadlet（パドレット）です。Padletは全員で投稿したものをシェアできるいわばデジタル掲示板のようなサービスです。本校では主に社会科や道徳、英語の授業で活用しています。優れているところは、文字だけではなく、画像や動画も簡単に投稿できる点です。背景（壁紙）やリアクション（「いいね」をつけたりする）など設定の自由度が高いです。簡単に調べたものを皆に紹介したり、授業者が設定したトピックについて賛成・反対の意見を聞いたりするときなど活用できる場面が多いです。ICT先進国のアメリカでは数年前より教育現場で活用されており、私もアメリカの先生から紹介していただきました。用意したPadletを生徒にリンクするのも簡単です。QRコードを生徒に示して読み込んでもらっても良いですし、私はGoogle ClassroomにURLをリンクするか、授業のスライドにリンクを貼って生徒に開いてもらっています。



Padletは様々な授業場面で活用できます。投稿した順番にタブレットの画面に反映されていくので、作業に時間がかかる生徒は他の生徒の投稿を参考にできます。そして何より生徒が楽しんで授業に参加できることが良いと思います。



注意が必要なことは、無料で使用する場合、掲示板を3つまでしか作れないことです。私は使い終わったものをPDFやjpegにしてGoogleドライブに保存しています。

### ○ Google スライドで授業をナビゲート

授業にICTの活用を始めて15年以上になります。そのほとんどの期間は、Mac標準のKeynote（パワーポイントと似たもの）というプレゼンテーションソフトを使ってきました。ほぼ毎時間、スクリーンや大型テレビにプレゼンテーションを映して授業をしますが、効率を考えて機器を活用したというだけで、一斉授業であることは変わりませんでした。

2つ目はGoogleスライドです。Googleスライドのよいところは画像、図形、テキストなど何にでもリンクを貼って、インタラクティブなスライドを簡単に作成できることです。Keynoteで一斉授業していた時とは違い、生徒が自分の手元でスライドを操作することが可能となりました。まだ活用方法を試行錯誤中ですが、生徒主体の学習活動を取り込んでいくための強力なツールになると思います。

リンクは外のサイトやドライブ内の画像・動画・ドキュメントなどはもちろんですが、便利なのは、同じスライド内のページへリンクできることです（パワーポイントのハイパーリンクのようなもの）。私は先頭のスライドに目次のような場所を作っています。そうすることで、生徒が見たいところをすぐに見ることができ、また、各ページにはトップメニューへのリンクを貼っていつでも最初に戻れるようにしています。

うまくいかないことも多いです。例えば、上図の「復習！元禄文化！」では、スライド内リンクを利用して、暗記に役立つカードめくりを作成しましたが、生徒はすぐに飽きてしまいました。また、機能が限られているのでKeynoteやパワーポイントのように凝った見栄えのものは作れませんが、動画との相性が悪いです。

時々「機器を使うことが目的になっている」という批評が耳に入りますが、授業づくりに役立つならどんどん使うべきです。良い授業ができるようにコツコツと学び続けていきたいと思っています。



## ☆復習！元禄文化！☆

浮世草子の作家 代表作は『日本永代蔵』など	人形浄瑠璃の脚本家 代表作『曾根崎心中』など	俳諧（俳句）を芸術の域へ高めた 代表作『奥の細道』など
俵屋宗達 たわやそうたつ	江戸初期の画家・工芸家 『燕子花図屏風』など	江戸初期の浮世絵画家 代表作『見返り美人図』
水戸藩の藩主 歴史書『大日本史』の編纂を始めた	元禄文化のころの第五代将軍・湯島聖堂の建設や生類憐れみの令で有名	カードをめくって答えを確かめよう Back to the top!

## プチまとめ

- 地形図は国土地理院で作られる。
- 地形図を読み取る基本は、方位・地図記号・縮尺・等高線の4つ！

理解度チェック 日本地形

理解度チェック 世界地形

理解度チェック 日本の国土の広がり

理解度チェック 世界の中の日本の位置

理解度チェック 地球儀から世界地図へ

BACK TO TOP